



ゲートウェイ ファイル形式

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用して、Cisco Unified Communications Manager データベース内の Cisco ゲートウェイのファイル形式を一括して設定する方法について説明します。

- [ゲートウェイ ファイル形式の検索 \(1 ページ\)](#)
- [ゲートウェイ ファイル形式の設定 \(2 ページ\)](#)
- [ファイル形式の CSV データ ファイルとの関連付け \(5 ページ\)](#)

ゲートウェイ ファイル形式の検索

BAT を使用して、ゲートウェイ ファイル形式を検索します。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ゲートウェイ (Gateways)] > [ゲートウェイファイル形式 (Gateway File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] の順に選択します。[ゲートウェイファイル形式の検索/一覧表示 (Gateway File Format Find and List)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかを実行します。

- a) データベース内のレコードをすべて表示するには、ダイアログボックスを空欄のままにして、[ステップ 3 \(2 ページ\)](#) に進みます。
- b) レコードをフィルタまたは検索するには、次の手順を実行します。
 1. 最初のドロップダウン リスト ボックスで、検索パラメータを選択します。
 2. 2 番目のドロップダウン リスト ボックスで、検索パターンを選択します。
 3. 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

(注) 検索条件をさらに追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定した条件をすべて満たしているレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックすると最後に追加した条件が削除され、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックすると追加した検索条件がすべて削除されます。

ステップ 3 [検索 (Find)] をクリックします。

すべてのレコードまたは一致するレコードが表示されます。1 ページあたりの項目の表示件数を変更するには、[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスで別の値を選択します。

(注) データベースから複数のレコードを削除するには、該当するレコードの横のチェックボックスをオンにして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。この選択で設定可能なすべてのレコードを削除するには、[すべて選択 (Select All)] をクリックして、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

ステップ 4 表示されたレコードのリストから、確認するレコードのリンクをクリックします。

ヒント ソート順を反転させるには、リスト見出しの上矢印または下矢印が使用可能であればそれをクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

ゲートウェイ ファイル形式の設定

BAT を使用して、ゲートウェイ ファイル形式を作成、コピー、変更、または削除できます。

関連トピック

[CSV データ ファイル用のゲートウェイ ファイル形式の作成 \(2 ページ\)](#)

[既存のゲートウェイ ファイル形式のコピー \(3 ページ\)](#)

[既存のゲートウェイ ファイル形式の変更 \(4 ページ\)](#)

[CSV データ ファイルからのファイル形式の削除 \(5 ページ\)](#)

[ゲートウェイ 設定関連のトピック](#)

CSV データ ファイル用のゲートウェイ ファイル形式の作成

テキストベースの CSV データ ファイル用のゲートウェイ ファイル形式を作成できます。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [ゲートウェイ (Gateways)] > [ゲートウェイファイル形式 (Gateway File Format)] > [ファイル形式の作成 (Create File Format)] の順に選択します。

ステップ 2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。

[ゲートウェイファイル形式の作成 (Create Gateway File Format)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [形式名 (Format Name)] フィールドに、このカスタム形式の名前を入力します。

ステップ 4 [デバイスフィールド (Device Fields)] で、ゲートウェイごとに定義するデバイス フィールド名を選択します。[デバイスフィールド (Device Field)] ボックスで、デバイス フィールド名

をクリックし、矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] ボックスに移動します。

ゲートウェイ名と説明は常に選択されたままになります。

ヒント リストでランダムに複数のフィールド名を選択するには、**Ctrl** キーを押したまま、矢印をクリックしてそれらをまとめて選択します。アイテムの範囲を選択するには、**Shift** キーを使用します。

ステップ 5 [回線フィールド (Line Field)] ボックスで回線フィールド名をクリックし、矢印をクリックして、そのフィールドを [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスに移動します。

(注) ファイル形式として回線を選択した場合は、[電話番号 (Directory Number)] を必ず選択してください。

ヒント [選択済みの回線フィールド (Selected Line Fields)] ボックスと [選択済みのデバイスフィールド順序 (Selected Device Fields Order)] ボックス内のアイテムの順序を変更できます。アイテムを選択し、上矢印を使ってフィールドをリストの上位に移動するか、下矢印でフィールドをリストの下位に移動します。

ステップ 6 [IP 電話回線の最大数 (IP Phone Lines Maximums)] 領域で、[回線の最大数 (Maximum Number of Lines)] フィールドに最大値を入力します。

ステップ 7 カスタムファイル形式を保存するには、[保存 (Save)] をクリックします。[ゲートウェイファイル形式の検索/一覧表示 (Gateway File Format Find and List)] ウィンドウの [ファイル形式名 (File Format Names)] リストに、ファイル形式の名前が表示されます。

既存のゲートウェイ ファイル形式のコピー

既存のゲートウェイ ファイル形式をコピーできます。

手順

ステップ 1 コピーするゲートウェイ ファイル形式を検索します。

ステップ 2 [検索結果 (Search Results)] 領域で、コピーするファイル形式を選択します。
[ゲートウェイファイル形式の設定 (Gateway File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 選択したファイル形式のコピーを作成するには、[コピー (Copy)] をクリックします。

ヒント ファイル形式をコピーするために、[ゲートウェイ ファイル形式の検索/一覧表示 (Gateway File Format Find and List)] ウィンドウで対応する [コピー (Copy)] アイコンをクリックすることもできます。

ステップ 4 [形式名 (Format Name)] フィールドに、コピーする形式の新しい名前を入力します。

ステップ5 変更が終了したら、[保存 (Save)] をクリックして、リスト内の変更と一緒にコピーしたファイル形式を保存します。

関連トピック

[ゲートウェイ ファイル形式の検索](#) (1 ページ)

[既存のゲートウェイ ファイル形式の変更](#) (4 ページ)

既存のゲートウェイ ファイル形式の変更

BAT を使用して、既存のゲートウェイ ファイル形式を変更します。変更できるのはカスタムファイル形式だけです。

手順

ステップ1 変更するゲートウェイ ファイル形式を検索します。

ステップ2 [検索結果 (Search Results)] 領域で、変更するファイル形式を選択します。
[ゲートウェイファイル形式の設定 (Gateway File Format Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ3 次の方法を使用して形式を変更します。

- a) 新しいフィールドを追加するには、[デバイスフィールド (Device Fields)] または [回線フィールド (Line Fields)] ボックスでそれらを選択し、矢印をクリックすると、選択したフィールドが [選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスに移動します。
- b) フィールドを削除するには、[選択済みのデバイスフィールド (Selected Device Fields)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスでそれらを選択し、矢印をクリックすると、選択したフィールドが [デバイスフィールド (Device Fields)] または [回線フィールド (Line Fields)] ボックスに移動します。

(注) 必須フィールドである [ゲートウェイ名 (Gateway Name)] と [説明 (Description)] は削除できません。

- c) フィールドの順序を変更するには、[選択済みのデバイスフィールド順序 (Selected Device Field Order)] または [選択済みの回線フィールド順序 (Selected Line Fields Order)] ボックスでフィールド名を選択し、上矢印または下矢印を使って位置を変更します。

ステップ4 変更が終了したら、[保存 (Save)] をクリックしてファイル形式の変更内容を保存します。

関連トピック

[ゲートウェイ ファイル形式の検索](#) (1 ページ)

CSV データ ファイルからのファイル形式の削除

BAT を使用して、CSV データ ファイル用の既存のファイル形式を削除します。削除できるのはカスタム形式だけです。

手順

- ステップ 1** 削除するゲートウェイ ファイル形式を検索します。
- ステップ 2** [検索結果 (Search Results)] 領域で、それが削除対象のファイルであることを確認します。
- ステップ 3** リストからファイル形式を削除するには、[選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。ファイル形式の削除の確認を求めるとメッセージが表示されます。[OK] をクリックして続行します。

(注) [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックする前に、表示された結果リストの全体を必ず確認してください。

リストからファイル形式の名前が削除されます。

関連トピック

[ゲートウェイ ファイル形式の検索](#) (1 ページ)

ファイル形式の CSV データ ファイルとの関連付け

テキストベースの CSV データ ファイルとファイル形式を関連付けることができます。

テキストエディタを使用して CSV データファイルを作成した際に、テキストベースのファイルに値を入力するため、ファイル形式を作成しました。ファイル形式によって指定された順序でテキスト ファイルに値を入力しました。

CSV データファイルに入力した後、ファイル形式をテキストベースの CSV データファイルと関連付ける必要があります。ファイル形式を CSV ファイルと関連付けると、各フィールドの名前は CSV データファイルの最初のレコードとして表示されます。この情報を使用して、正しい順序で各フィールドに値を入力したことを確認できます。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ゲートウェイ (Gateways)] > [ゲートウェイファイル形式 (Gateway File Format)] > [ファイル形式の追加 (Add File Format)] の順に選択します。[ゲートウェイファイル形式の追加 (Add Gateway Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] フィールドで、このトランザクション用に作成したテキストベースの CSV ファイルを選択します。
- ステップ 3** [ファイル形式名 (Format File Name)] フィールドで、このタイプの一括トランザクション用に作成したファイル形式を選択します。

- ステップ 4** 一致するファイル形式を CSV データファイルと関連付けるジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- [一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブをスケジュールまたはアクティブ化します。

関連トピック

[スケジュールしたジョブの管理](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。